

# \* 千葉エリア \*

◇ 本  部 ◇

◇ 千葉センター ◇

◇ 幸町・子育てリラックス館 ◇

# 千葉エリア事業年表



# ◇ 本 部 ◇

## 本部の主な事業

- ★福祉サービスの評価調査・調査研究
- ★千葉県多重債務者相談 ★生活再建支援相談
- ★生活困窮者支援・貧困連鎖防止
- ★千葉市救急車適正利用促進
- ★成年後見支援
- ★千葉市生活支援コーディネーター
- ★千葉市子育てリラックス館
- ★一時預かり《たあ～たん》
- ★託児ケアシステム《風船》

VAICとCCIが2009年度に合併登記しVAIC-CCIが誕生。本部：千葉市中央区労働福祉センター2008.10～2011.6

(VAIC本部は、風の村八街内～海浜幕張の高層ビル～風の村佐倉内への移転を経た後、合併を機に労働福祉センター内に転居)

2011年6月からは、本部を現在の千葉市稲毛区園生町いなげビレッジ虹と風内に構え、千葉センターも併設し、地域包括ケアシステムの構築モデルとしての活動に取り組んでいます。

CCI 2005年～

◇ 本 部 ◇

# 福祉サービスの評価調査 ・ 調査研究

福祉サービスの運営力の向上と、利用者がより利用しやすくなるための評価を当初はCCIの事業として千葉県と東京都で実施。  
また千葉県・他県の調査員研修も受託しています。



# 福祉サービス評価調査事業

- ◆ 事業概要
  - ・ 東京都福祉サービス第三者評価
  - ・ 千葉県福祉サービス第三者評価
  - ・ 社会的養護関係施設第三者評価
  - ・ 地域密着型サービス外部評価
  - ・ 千葉県福祉サービス評価・調査機関連絡会 幹事・事務局
  
- ◆ 目的 事業者が事業運営の具体的な問題点を把握してサービスの質を向上させる。評価結果の公表により利用者が適切なサービスを選択できるようにする。
  
- ◆ 内容 対象の事業所の資料を作成し、相談員が調査、報告書にまとめ公開する。
  
- ◆ 経緯
  - 2005年 千葉県での福祉サービスの第三者評価モデル事業に参加した。
  - 2006年 千葉県福祉サービス評価機関として県から認証を受け事業を開始。
  - 2006年 千葉県の受託で福祉サービス第三者評価調査員養成研修・継続研修を開始。以来毎年開催している。
  - 2011年 東京都福祉サービス第三者評価機関として認証を受け事業を開始。
  - 2012年 社会的養護関係施設の第三者評価機関として認証を受け事業を開始。

## 千葉県福祉サービス評価調査員養成研修会の様子



CCI 2005年～

◇ 本 部 ◇

# 生活困窮者支援事業

## ★千葉県多重債務者相談 ★生活再建支援相談

多重債務が社会問題となった2008年に24時間365日の相談窓口を県からCCIが受託しました。(2013年終了)

## ★生活困窮者支援・貧困連鎖防止

多重債務者支援の取り組みが、2013年の生活困窮者自立支援法成立後、県内での家計相談支援事業に繋がりました。

## ★すまいるじょい

中高生の生活支援を通じて貧困の連鎖防止に取り組んでいます。



## 生活困窮者支援事業

### 多重債務者相談事業 ～ 生活困窮者自立支援事業

- ◆ 目的 困窮孤立を解消し、生活を再生、社会参加につなげる。
- ◆ 内容 千葉市家計改善支援事業を虹の街と二者JV「家計再生応援ネット」で受託。  
柏市、印西市、白井市では、風の村が受託した。  
自立相談支援事業・家計相談支援事業に相談員が出向。
- ◆ 経緯 2005年 グループ内に「多重債務問題研究会」発足・参加。  
2008年 「生活再生支援センター」設立。  
2010年 生活再生支援センターに「アリエッティ基金」設置。  
2008年8月～2011年3月 千葉県から受託「多重債務者等への相談事業」  
2011年4月～2014年3月 千葉県から受託「生活再建支援相談事業」  
2013年12月～2015年3月 千葉市生活困窮者自立促進支援モデル事業を三者  
で受託。  
2015年4月 千葉市生活困窮者自立促進支援事業家計相談支援事業を虹の街  
との二者で受託。  
2015年 虹の街「暮らしと家計の相談室」に相談員出向。



相談の様子：相談員2名体制でしっかり対応しました。



多重債務相談事例共有会を毎月一回開催していました。

## 2008年～多重債務者相談事業～2013年

講演会や研修会を開催しました。

写真は、フォーラム開催会場の様子



## 生活困窮者支援事業

－ 貧困連鎖の防止 －

2015年～ すまいるじょい

- ◆ 目的 貧困連鎖の防止のため、困窮家庭で育つ子どもが大人になって困らないよう多様な生活体験を提供する。
- ◆ 内容 行政・学校・支援団体からの紹介を受け、予約制で食事作り体験などを中心に月に1回開催。  
一人ひとりに合わせた個別の支援を行っている。
- ◆ 経緯 2年間の準備期間を経て2015年に1回目を実施し、以来毎月行っている。



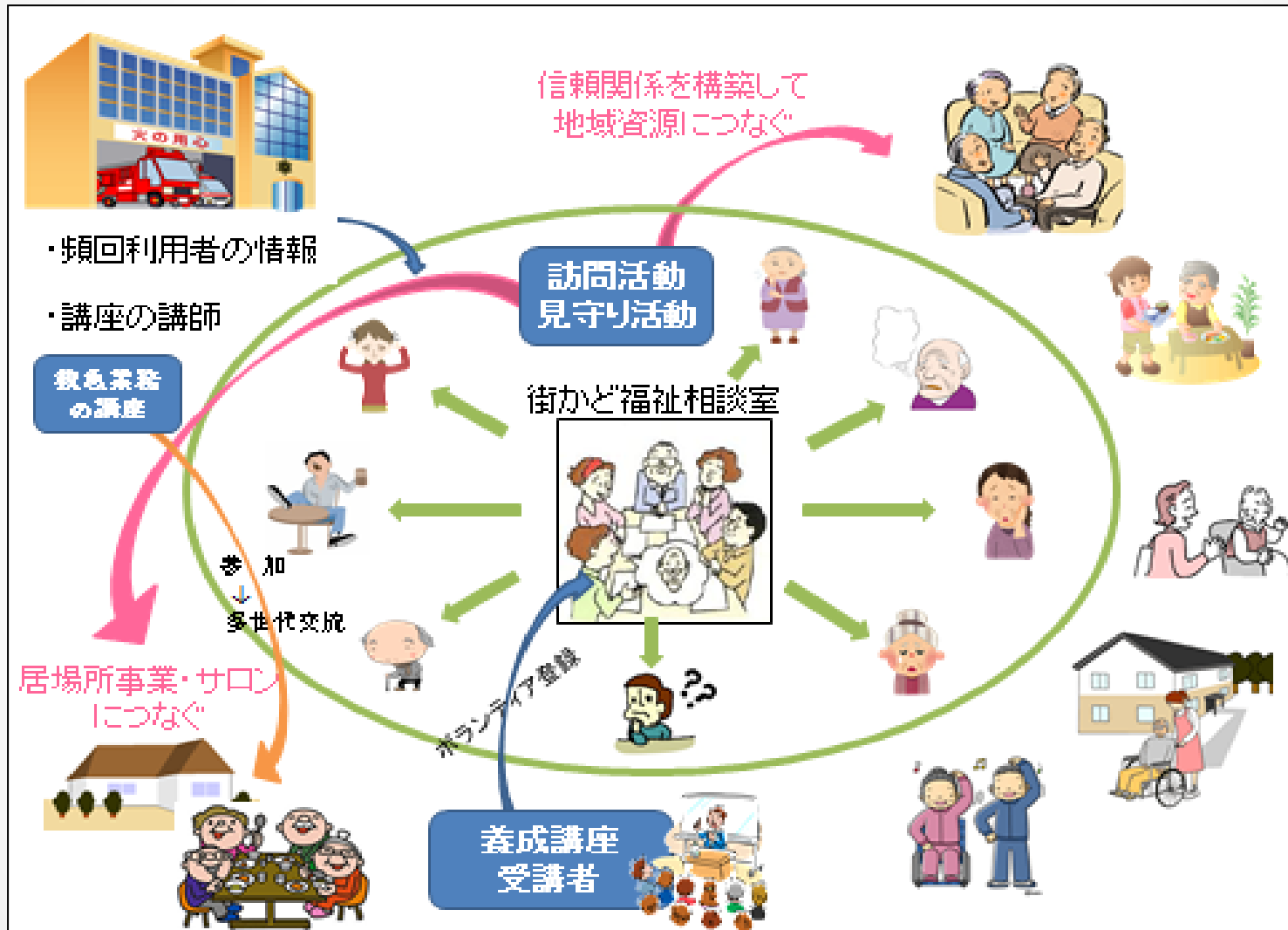
野外活動の様子／風の杜ひろばにて

# 千葉市救急車適正利用促進事業

- ◆ 目的 不安・孤立・生活の乱れなどから、救急車を頻回利用する方の相談、支援、社会参加を通じて、救急車の適正利用に繋げる。
- ◆ 内容
  - ・ 連絡を取り生活相談に乗り支援につなぐ交流や居場所に繋ぐなどし、社会参加を推進する。
  - ・ 頻回利用に対する啓発活動を行う。
  - ・ 支援のための担い手を育成する。
- ◆ 経緯 2015年から千葉市消防局の受託事業として稲毛区・美浜区で実施。現在は千葉市全域で実施している。



# 千葉県救急車適正利用促進事業



VAIC-CCI 2011年～

◇ 本 部 ◇

## 成年後見支援事業

高齢者や障害のある方の権利擁護の取り組みとして、法人としての後見支援と制度の普及啓発に取り組んでいます。

# 成年後見支援事業

- ◆ 目的 住み慣れた地域で最後まで住み続けられるように自己決定を尊重し、  
身上監護を重視した支援を多職種連携で行う。
- ◆ 経緯 2008年からの準備期間を経て2011年事業開始。  
後見制度に関する周知・啓発活動は2016年9月に実施。  
当初構想したグループでの市民後見人の  
育成と活動の場づくりは課題。  
2018年度から体制再構築のための  
プロジェクトを設置し検討。  
2020年 成年後見支援センター設置準備中
- ◆ 実績 2012年、2014年各1名、2016年2名、  
2017年1名、計5名受任(いずれも保佐)  
うち3名終了  
2018年度末で2名受任継続中




成年後見制度パンフレット  
明日のあんしんのために


## 歳をとっても安心して暮らしたい！

判断能力に自信がなくなってきたら…  
身近に相談する人がいない…

まずは、お電話ください

認定 NPO 法人 コミュニティアネットワーク  
成年後見支援センター

 あなたの不安に  
チームを組んで対応します

 毎月2回の定期訪問の中で  
いろいろな困りごとや  
不安なことを一緒に解決していきます





## ◇ 本 部 ◇

# 千葉県生活支援コーディネーター

- 千葉県稲毛区を担当していました。（2018年度で終了）
- 「高齢者の社会参加を通じて介護予防につなげる」介護保険制度の中の役割です。

## 2015～2018年 千葉市生活支援コーディネーター

- ◆ 目的
  - ・制度：高齢者の増加、財源不足、担い手不足を背景に、高齢者が地域活動に参加参画することで介護予防とし、介護保険以外の高齢者の受け皿を充実させる。
  - ・法人：千葉センター、柏センターを拠点として独自にすすめてきた地域づくり・担い手創出が、この役割の受託により市と連携し、制度の一環として実施できるようになった。これを後押しに地域づくり・担い手創出を一層充実して進めていく。
- ◆ 内容
  - 別紙参照
  - 各区に1～2名配置されている第1層。
  - 名称は「千葉市生活支援コーディネーター」
- ◆ 経緯
  - 2015年配置の際、（市から打診有り）市の公募に応募、法人として受託。
  - 当時1名、2016～2018年度2名。

## 社会参加支援

### ボランティアコーディネート

千葉県との協働事業  
高次脳機能障害者のボランティア活動

### 《ボランティアはじめての一步》

高次脳機能障害者の社会参加のための千葉県との協働事業（モデル事業）は、現在 C's cafeで開催中の「C's こ～うじのうカフェ」に繋がっています。

## 高次脳機能障害者のボランティア活動

社会的役割を得る・自分自身の存在の意味を自覚

⇒ 社会的自己実現

- ◆ 目的
- ・ 高次脳機能障害者の社会参加支援
- ・ 高次脳機能障害の地域理解の促進



《高次脳機能障害者のボランティア活動システム》

パンフレット ボランティアはじめの一步



## ボランティアはじめの一歩

得意の書道を活かした宛名書きボランティア  
受け取った方からたいへん喜ばれました。（本部）



施設の入居者さんの話し相手（八街）



## ◇ 本 部 ◇

# 子育て支援事業

★千葉市子育てリラックス館

★託児ケアシステム《風船》

★一時預かり保育《たあ～たん》

★こどもカフェ3rdプレイス虹

地域で子育てを見守るよう千葉市の親子ひろばを、生活クラブ虹の街からは組合員活動時の集団託児を受託。

本部のある生活クラブいなげビレッジ虹と風は、生活クラブ千葉グループ団体の複合拠点。ここでは、一時預かり、子育てリラックス館《出張ひろば》を運営しています。

VAIC 2006年10月～

◇千葉県幸町・子育てリラックス館◇

### ◇千葉市子育てリラックス館◇（幸町・園生）

- ◆ 目的 子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場を提供する。
- ◆ 内容 アドバイザーが2名以上常駐し、子育て支援や相談に応じている。  
幸町では、開館時間の中で別室にてベビー＆キッズマッサージ  
エクササイズ、読み聞かせ、季節のイベントなども行われている。
- ◆ 経緯 国の地域子育て支援事業の推進を受けて千葉市では「子育てリラックス館」という名称で各区に親子ひろばが配置されている。  
2006年10月 千葉市の委託を受け美浜区幸町（R14沿いマルエツ2階）にオープン。  
2014年 9月 隣接する社会福祉法人兼愛会 美浜しょうじゅタウン内1階に移設。（新築）  
2012年 4月 いなげビレッジ虹と風 園生出張ひろばがオープン。



2006年10月オープン：R14沿いマルエツ2階



子育てアドバイザーと遊ぶ幼児の様子

2014年9月移転：隣接する社会福祉法人兼愛会 美浜しょうじゅタウン内1階



ベビーマッサージ講習会の様子



《人形劇鑑賞会》の様子



VAIC-CCI 2009年～

◇ 本 部 ◇

## 託児ケアシステム 《風船》

生活クラブ生協(虹の街)から組合員活動時の集団託児を受託し、運営しています。

### 託児システム《風船》

- ◆ 目的 虹の街の組合員が安心して子どもを預け、活動に参加できるよう支援する。
- ◆ 内容 組合員活動に参加する保護者のお子さんを併設する場所で預かる集団託児。  
組合員は利用料無料。（エコロ ※ 拠出金総額の3割強を活用）  
※ 虹の街のたすけあいの共済制度
- ◆ 経緯 2007年 虹の街エコロ制度見直しプロジェクト  
増えるニーズに対応し、子どもの安全を第一に託児ケアシステム  
を安定的に運用するため事業化検討  
2008年 託児ケアシステムの事業化準備  
2009年 託児ケアシステム《風船》  
→虹の街がVAIC-CCIに委託事業開始  
託児ケア者81名からスタートし、2010年3月には184名となった。  
→以降「託児ケアシステム定期協議会」の実施



託児システム風船の託児風景



# 一時預かり「たあ～たん」



## 子育て支援事業

- ◆ 目的 地域の子育て世代に「理由を問わない預かり」を提供し、子育ての孤立（孤育て）を防止する。
- ◆ 内容 「託児ケアシステム風船」のノウハウやケア者を活かし、時間単位（1,500円／時間）で個別対応の託児を行う。  
スタート当初 1,100円/時間
- ◆ 経緯 2011年 虹の街の協力を得て開始。  
→同時期に虹の街とVAIC-CCIによって実施された「子育ての社会化研究会」での社会的課題「理由を問わない預かりの不足」を受けてスタート。



### 事例 . . .

♡ 上の子の幼稚園の行事や、通院時に預かってもらえて助かりました。  
♡ 里帰り出産で戻ってきた際、上の子を預かってもらい、母の負担が少し減って助かりました。

### ケア者から

親御さんに託児中のお子さんの様子をお迎え時にお話しします。  
預けるときに泣いてお子さんが楽しく遊んだ様子を聞くと安心なさいます。



## 一時預かりたあ〜たんの託児風景

いなげビレッジ虹と風内地域活動スペース虹Bにて



VAIC-CCI 2012年4月～

子育て支援事業

千葉県子育てリラックス館  
親子ひろば  
《園生出張ひろば》

いなげビレッジ虹と風内地域活動スペース虹Bにて

### ◇千葉市子育てリラックス館◇（幸町・園生）

- ◆ 目的 子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場を提供する。
- ◆ 内容 アドバイザーが2名以上常駐し、子育て支援や相談に応じている。  
幸町では、開館時間の中で別室にてベビー＆キッズマッサージ  
エクササイズ、読み聞かせ、季節のイベントなども行われている。
- ◆ 経緯 国の地域子育て支援事業の推進を受けて千葉市では「子育てリラックス館」という名称で各区に親子ひろばが配置されている。  
2006年10月 千葉市の委託を受け美浜区幸町（R14沿いマルエツ2階）にオープン。  
2014年 9月 隣接する社会福祉法人兼愛会 美浜しょうじゅタウン内1階に移設。（新築）  
2012年 4月 いなげビレッジ虹と風 園生出張ひろばがオープン。

# 千葉市子育てリラックス館 親子ひろば《園生出張ひろば》



VAIC-CCI 2012年～

子育て支援事業

# こどもカフェ 3rdプレイス虹

いなげビレッジ虹と風内地域活動スペース虹ABにて

開設当初：千葉市『こどもカフェ3rdプレイス虹』

2019年4月～：『こどもカフェ3rdプレイス虹』

- ◆ 目的 小学生から高校生までのこどもたちが放課後に過ごす居場所を提供する。
- ◆ 内容 スタッフ2名が「信頼される大人」として常駐している。安心・安全な環境を作り、子どもの意見を取り入れた活動内容などで運営している。
- ◆ 経緯 2012年7月  
千葉市から公募があり、現地調査・ヒアリングを経て決定。  
2012年10月～2019年3月  
地域活動スペース虹にて千葉市こどもカフェモデル事業として  
「こどもカフェ3rdプレイス虹」運営  
2019年4月～法人独自事業化  
稲毛区地域活性化事業として  
「こどもカフェ3rdプレイス虹」継続  
2019年度上期は、千葉市後援  
2019年度下期からは、どこでもこどもカフェ

## こどもカフェ 3rdプレイス虹

近隣の大学学生がボランティアでこども達の遊びや学習のサポートをしています。



## こどもカフェ 3rdプレイス虹





# ◇千葉センター◇

## 千葉センターの主な事業

- ★ボランティアコーディネート
- ★地域コーディネーター
- ★安心システム
- ★地域交流の場《あみいこ》
- ★生活支援サービス事業



VAIC 2004年～

◇千葉センター◇

## 社会参加支援

# ボランティアコーディネート

地域住民の「生きがい見つけ」のお手伝いをしています。

## 社会参加支援事業 (ボランティアコーディネート)

＊ ＊ふわふわ＊ ＊ 2007年から活動しています。  
子育てリラックス館で使う布製のおもちゃを作っ  
たり、季節の行事などのタペストリーを手作りし  
ているボランティアグループ。



社会参加支援事業  
(ボランティアコーディネート)

いなげビレッジ虹と風の餅つき  
イベントボランティアの様子



VAIC-CCI 2017年～

◇千葉センター◇

## 地域コーディネーター

人と人とをつなぎ、交流や活動を生み出す支援をしています。

2017年～

## 地域コーディネーター

- ◆ 目的 地域のだれもが、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていくことができるように、多様な出会いの場をつくり、人と人とをつないで、交流や活動を生み出すことで孤立のない社会をめざす。
- ◆ 内容 総合相談や社会参加支援、地域交流企画のコーディネート。
- ◆ 経緯  
法人では、各センターを地域包括システムの拠点と位置づけ事業展開をしてきました。  
2017年 VAIC-CCI第3次中期計画に基づき、八街・柏・千葉センターに地域コーディネーターを配置しました。  
安心システムをはじめ、地域資源や制度へつなぎ、コーディネート機能を強め、地域づくりのリーダーシップを発揮しています。

## ※「生活クラブ安心システム」とは

「住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていくことができるよう、地域の中で支えるきるための活動と担い手づくりに取り組み、地域包括ケアの実現に寄与するためのものです。

「街の縁側」分野横断の人材育成と相談・支援の機能を持ち、だれもが安心して訪れることができる居場所づくりにも取り組んでいます。

安心システムには、地域住民を対象にした《安心支援システム》と、介護保険サービスなどの利用契約を結んだ要介護者を対象とした《安心ケアシステム》の2つがあります。

《安心支援システム》では、事業所はその地域の人々の日常生活圏全体に責任を持ち、孤立しがちな高齢者、障がい者、生活困窮者なども地域社会の一員として、安心して生活を続けられるように支援します。

《安心ケアシステム》では、事業所の利用者の在宅生活をできる限り支え、制度外のケアを含めて最期まで地域社会での生活を続けられるように「支えきる」ことをめざします。

## 地域コーディネーターが関わった地域の「みのり」

地域コーディネーターが支援し、多くの方の力でたくさんの実をつけた様子を「りんごの樹」で表現しました。

その実りは少しずつ増えていっています。

「あみいこ」から自主運営グループへ  
「参加する側から主催する側へ」

千葉センターで開催されている地域交流の場「あみいこ」の参加者の皆さんに呼びかけ、各教室の自主運営化の後押しをしました。呼びかけに応じて「あみいこ」から独立して、自分たちで運営するグループができました。仲間と楽しみ、グループで地域へ初めの一步を踏み出し、様々な活動が広がっています。



地域コーディネーターが関わる事業



事業それぞれの企画



活動の成果



今後の展望、目指すこと



## 自主グループ

地域出会い交流の場【あみいこ】から仲間と一緒に地域で自主活動を始め、地域での仲間の輪が広がっていきました。  
自主グループとして、IS会・紫陽花の会（茶道）・水彩の会（絵画）・習字の会が誕生しました。

「あみいこで学んだ事を地域に活かしていきたい」  
まずは自分たちで仲間と居場所づくり！！



### 自主グループ「IS会」

あみいこ「佐賀先生の健康教室」で学んだメンバーがIS会（医療と終活を考える会）を18名で立ち上げました。平均年齢78才のメンバーの気持ちは熱く「認知症」「地域包括システム」「在宅医療」など毎回多彩なテーマを決めて勉強会を運営しています。自分たちの居場所をつくる！地域でやってみたい事の実現を仲間と一緒に楽しんでいます。

## 「地域食堂～みんなのテーブル」 (安心システム事業)

月1回、地域の交流の場として開催。ご高齢の方から子育て中のママまで、おいしい料理を囲みながら一緒に食事をしました。『ここに通うのが楽しみで歩く練習しています』と言う方や友達のコーラスの演奏会を聞きに行ってみたり、交流の輪が地域食堂を越えて広がっています。



新しい友達が出来ました！ここに来て会えるのが楽しみです。

◇千葉センター◇

## 地域交流の場＊あみいこ

千葉市稲毛区で実施する各種講座。  
地域の顔見知りの関係を作り、地域活動への参加  
につなげています。

## VAIC-CCI 2011年～

### 地域交流・担い手創出を目的とした 各種講座『あみいこ』

- ◆ 目的 この教室をきっかけに参加した人たちが顔見知りになることで地域交流を活発にし、社会参加を促す。
- ◆ 内容 地域の人々が交流する場としてさまざまな教室や講座を開催。ここ数年は講座の自主グループ化により地域活動の担い手創出を進めている。
- ◆ 経緯 2011年 いなげビレッジ虹と風で開始。  
2012年 日本たばこ産業JTの助成を受ける。(千葉)  
2018年 キリン福祉財団の助成を受ける。(千葉)

2012年度 JT助成金を受けて、宣伝チラシを外注化。前期用、後期用の2期に分けて近隣地域に地域新聞に折り込み配布しました。



<b>卵の料理教室</b> 定 員：20名 参加費：2000円(ランチ付特等券) 場 所：地域活動センター 2F 時 間：10時～12時 10月11日(水)・11月15日(土) 12月12日(水)・1月17日(日) 2月14日(日)・3月14日(日)	<b>読書点灯教室</b> 定 員：12名 参加費：1000円(お茶代含む) 場 所：地域活動センター 2F 時 間：18時～19時 10月10日(火)・11月14日(木) 12月12日(水)・1月16日(日)
<b>健康講座教室</b> 定 員：20名 参加費：1000円(1F)1500円(2F) 場 所：健康講座 時 間：10時～12時 10月4日(水)・20日(土)・25日(日) 11月11日(水)・17日(日)・24日(日) 12月12日(水)・18日(日)・25日(日) 2月7日(水)・23日(日)・28日(日) 3月7日(水)・23日(日)・28日(日)	<b>ヨガ教室</b> 定 員：15名 参加費：1000円(1F) 場 所：地域活動センター 2F 時 間：18時～19時 10月3日(日)・17日(日) 11月7日(日)・21日(日) 12月5日(日)・19日(日) 1月9日(木)・23日(日) 2月6日(日)・20日(日) 3月6日(日)・20日(日)
<b>保育先生の健康教室</b> 定 員：20名 参加費：800円 場 所：健康講座 時 間：13時～15時 11月20日(月)・保育士と一緒の授業 1月25日(月)・保育士と一緒の授業 3月22日(水)・結果発表について	<b>水彩教室</b> 定 員：15名 参加費：1000円(1F) 場 所：地域活動センター 2F 時 間：18時～19時 11月29日(日) 12月29日(日)

## あみいこ男の料理教室

家族が外出している時や急に食事を作らなくてはいけない時に、男の料理のレシピを見直して作っています。とても役に立ちましたよ

《参加者の様子と利用者の声》

みんなで食べるとおいしいね



いなげビレッジ虹と風内地域活動スペース虹Aにて

## あみいこ 防災教室



## あみいこ 水彩教室



ほかに 健康麻雀教室 ヨガ教室 太極拳教室  
佐賀先生の健康教室 日赤救急対応教室  
盆路お点前教室 などなど、  
地域のたくさんの皆さんが参加しています。

あみいこ 盆略お点前教室

→ 《紫陽花の会》参加者が自主運営できるようになったグループです。



あみいこに参加して自主サークルを立ち上げました。自分たちの好きな活動ができることが嬉しいです。

◇千葉センター◇

# 生活支援サービス事業



## 生活支援サービス事業

- ◆ 目的 住み慣れた地域でその人らしい暮らしができるよう  
公的制度ではまかなえない有償の生活支援サービスを提供する。
- ◆ 内容 家事支援・環境整備・見守りやお話し相手  
病院受診や通院のための外出同行・産前産後の家事支援
- ◆ 経緯 2011年 風の村からの呼びかけで関連団体とともに  
インフォーマルサービス事業の取り組みを  
検討開始。  
2012年 風の村からの助成（3カ年）を受けて  
UR都市機構+風の村+VAIC-CCI  
の三者による共同実験として開始。



# 生活支援サービス事業

## ◇ 利用者・家族の声 ◇

デイサービス以外の日には掃除と両親の昼食を作ってもらえて助かっています。

2人目を出産して、家事が大変でしたが、掃除や食事を作ってもらえてとても助かっています。

介護保険制度などではまかなえない  
生活支援サービスを提供します！



**生活支援  
有償サービス**

私たちは 住み慣れた地域で その人らしい暮らしができるよう 応援します！

これからの**10**年へ つ・な・ぐ

つなぐつなぐ  
10周年